氏名 金城 博之 所属 一般科目(文科系) 職位 教授

職務	項目例 割%			活動内容		
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画		 前期と後期にそれぞれ本科3科目の授業を行う。前期には専攻科 1科目の授業を行う。 予習プリントを毎時間課し・添削することで予習の習慣化を図る。 専攻科実践英語IIIにおいて、英文を多く書かせて発表させる授業を展開する。 		
		実績				
	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	10	1. 従来から進めている議論法に関する研究をリベラルアーツ特論の授業において進める。この課題で科研費を申請する。		
		実績				
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	1. 合理的配慮の学生(一般文科担当クラス分)の把握・支援と非常勤講師の学生指導支援を図る。 2. バレー部引率、英会話部コンテスト指導など副顧問として対応する。		
		実績				
務 / 管理運	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	50	1. 学科長業務の整理と簡素化・ルーチン化、学科教員の業務支援の円滑化、非常勤講師の業務支援を丁寧に進める。 2. 寮務主事補との兼任を行う(前期)。		
		実績				
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	1. 学会活動を現在の活動より活性化する。		
		実績				

教員業務内容報告書

報告者氏名 金城 博之 所属 文科 職位 教授 報告年度 令和5年度

分		計画		実績	
野	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	記載事項例
教育	20	担当科目: 英語1(通年4単位,1年2学科) 応用英語1(前期2単位,4年1学科) 応用英語2(前期2単位,4年2学科) 実践英語III(前期2単位,専攻科2年全コース) リベラルアーツ特論1:日本語ディベート(前期1単位,4年生) リベラルアーツ特論2:日本語ディベート(後期1単位,4年生) 様々な音読活動・会話活動から英語力を高める授業のあり方を工夫する。教科書使用初年度のため特に教材研究に取り組む。	30	英語1に関して新教育 課程に基づく教科書を用いたが、今年を用いたが、今重を 学生が話すると 学生が活った。 学生が活った。 学生が活った。 場面を豊富の内に できる。 の入れると の入れると の入れると の入れると の入れると の入れる の の の の に、 の の の の の に、 の の の の に の り の の に の り の り の と の り の と の と の と の と の と の と	担当科目名· 単位数 卒攻科研究· 專学学方法改善 內容
研究	20	科研費申請 ディベート指導研究 英語教育研究	10	科研費申請を行った。 ディベート指導研究は 新たにアナロジー思 考を加えた。英語教育 研究では、多読教育 を取り入れ始めた。	論著総学特共技科外 文書·解発 等研相費資 研相費資
学生生活指導	15	バレーボール部副顧問 英会話部副顧問 テコンドー同好会世話役	20	バレー部顧問としては 大会運営を行った。テ コンドー同好会世話 役として学生の安全指 導を行った。英会話部 顧問としては、サポー トを行う程度であった ため、次年度は貢献を 増やしたい。	クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	35	一般科目(文科系)学科長 学科会議 運営委員会 リスク管理委員会	35	学科長としての業務を 遂行した。学科教員の 負担軽減には貢献で きなかったが、学科会 議についてはほぼ勤 務時間内に終わって おり、時間短縮は果た せた。	主 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
社会活動	10	日本英文学会 九州英文学会 広島英文学会 岡山英文学会 高専英語教育学会 日本工学教育学会	5	学会活動は学科長初年度ということもあり、思うようにいかなかったが、遠隔実施の学会には参加できた。また新たにCLIL研究会にも参加でき、知見を広げることができた。	所属学会名 学会期 公開講經 出前好共同 男際所 国際外団体活動

⁽注)エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

⁽注)フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。